

医学講座

「神経・筋難病患者さんの歩行能力維持のための ロボット治療機器「HAL」について」

リハビリテーション科 部長
花山 耕三 (はなやま こうぞう)

認定医・専門医・指導医

日本リハビリテーション医学会 専門医・指導医

日本臨床神経生理学学会 専門医

日本義肢装具学会 専門医



神経・筋難病は多くが進行性であり、徐々に歩行能力が失われ、車椅子、寝たきりへと進むことがあります。リハビリテーションは主に機能維持または代償手段による日常生活活動の維持のために行われます。今回紹介するHAL (Hybrid Assistive Limb) (写真)は訓練用ロボットであり、両下肢に装着され、表面筋電を拾って増幅し、両下肢の歩行運動を作りだします。これを繰り返すことにより、その時点での適切な歩行運動を学習していくもので、1つのクールが終わるときにはロボットなしでも開始前より歩行能力が向上することが期待されます。HALは神経や筋の障害にともなう歩行障害に広く効果があると考えられています。現在保険適応となっているのは、脊髄性筋萎縮症、球脊髄性筋萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、Charcot-Marie-Tooth病、遠位型ミオパチー、封入体筋炎、先天性ミオパチー、筋ジストロフィー、HTLV-1関連脊髄症 (HAM)、遺伝性痙攣性対麻痺で、歩行能力が低下している患者さんです。5週間以内に9回の治療が行われますが、保険で行うには一定期間での改善が求められており、治療後に歩行能力の改善が示されることが継続して行うための条件となっています。もし、興味を持たれた場合は、当院リハビリテーションセンター主任理学療法士の杉 (代表番号: 086-462-1111からリハビリテーションセンター受付宛) までお問い合わせください。

(写真)
ロボット治療器「HAL」





きずな。

放射線診断科よりご案内

■ 骨塩定量検査

2024年5月から紹介患者専用の検査予約枠を設けています。
多くの患者様のご紹介をお待ちしております。
検査日・紹介方法については下記の通りです。

【検査日】

毎週 月曜・木曜 11:00

【紹介方法】

- 「事前受付用FAX用紙」
- 「骨塩定量検査チェックリスト」
- 「診療情報提供書」

上記3点をFAXで地域医療連携室へお送りください。
紹介目的欄に「骨塩定量検査希望」とご記入ください。

当院ホームページTOP> 医療関係者の方> 患者さんのご紹介の流れ
と手順について

https://h.kawasaki-m.ac.jp/data/tiikiiryou_02_01/feature_dtl/
よりダウンロードできます。

※骨粗鬆症の治療をご希望の場合は、整形外科へご紹介ください。

医師の動き

<新任医師 2024年6月1日付>
小児科 三浦 真澄 (みうら まずみ) 部長

<昇任医師 2024年6月1日付>
健康診断センター 依田 健志 (よだ たけし) 副部長

<退職医師 2024年6月30日付>
臨床腫瘍科 山村 真弘 (やまむら まさひろ) 医長

川崎医科大学附属病院 地域医療連携室
〒701-0192 倉敷市松島577

☎ TEL : 086-464-1567
☎ FAX : 086-464-1166
✉ MAIL : renkei@med.kawasaki-m.ac.jp

